

平成 29 年 5 月 2 日

これまでに副腎静脈サンプリングを受けた原発性アルドステロン症と本態性高血圧症の患者さんへ
【検査(血液、尿検査、負荷試験、心電図、レントゲン、CT スキャン、病理組織所見等)と
治療内容の調査研究への使用のお願い】

鳥取大学医学部附属病院内分泌代謝内科では「重症型原発性アルドステロン症の診療の質向上に資するエビデンス構築」という調査研究に参加予定です。この研究は、多数の患者さんの診療情報を収集・解析することにより、原発性アルドステロン症の診療水準向上に役立つ新たな検査法、判断法、治療法を確立することを主な目的としています。そのため、過去に副腎静脈サンプリングを受けた原発性アルドステロン症と本態性高血圧症の患者さんのカルテ等の検査と治療内容を使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- 今回の調査研究は、2006 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までに副腎静脈サンプリングを受けた原発性アルドステロン症および本態性高血圧症の患者さんの検査(血液、尿検査、負荷試験、心電図、レントゲン、CT スキャン、病理組織所見など)と以後 5 年間の治療内容が対象です。
- 通常診療で実施した検査や治療内容に関する情報を使用する研究で、新たな検査や費用が生じることはなく、患者さんの負担やリスクはありません。また、患者さんへの直接的な利益もありませんが、研究成果は、原発性アルドステロン症の診療水準向上に役立てられます。データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化し、個人情報厳重に管理します。また、研究で使用したデータは、研究全体の終了日から 5 年を経過した日又は当該研究成果の最終公表についての報告日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までの期間、担当者が責任者として厳重に保管します。保管期間終了後は、匿名化のうえ適切な方法で廃棄します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用しますが、個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、研究主催者である独立行政法人国立病院機構と研究資金提供組織である日本医療研究開発機構に帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は日本医療研究開発機構研究費により実施し、本研究に関する利益相反はありません。
- この研究に関して詳しい研究計画や関係資料をお知りになりたい場合は、ホームページをご参照ください。さらに詳しい情報をお知りになりたい方へは、個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせできます。研究全体の成果につきましては、ご希望があればお知らせいたします。
 - ・重症型原発性アルドステロン症の診療の質向上に資するエビデンス構築 (JPAS)
<http://portal.e-trial.co.jp/adrenal/project/case1/jpas>
- この調査研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会で審査され、医学部長の承認を受けて行われます。研究期間：2016 年 9 月 ～ 2021 年 12 月まで

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、2021 年 12 月までに、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【本学における問い合わせ先】

鳥取大学 医学部附属病院 内分泌代謝内科 (研究責任者) 伊澤 正一郎 TEL : 0859-38-6512
(研究分担者) 松澤 和彦

この調査研究は医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願い致します。